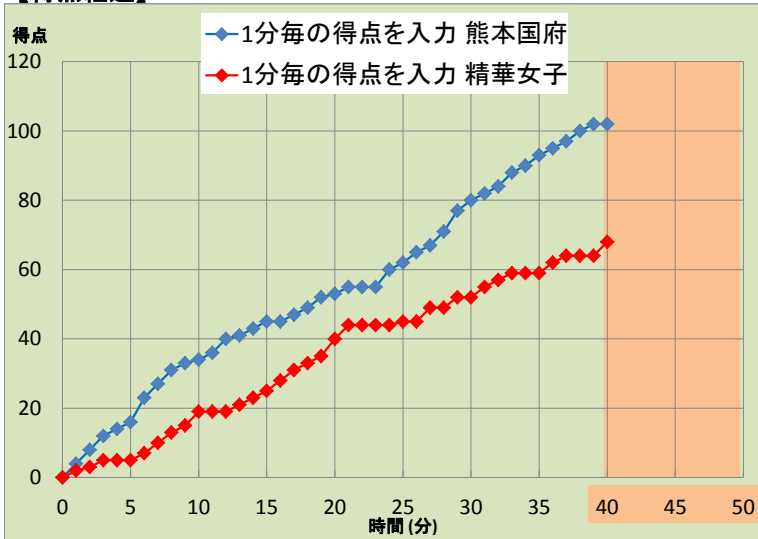


平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月25日 (日) 12:00	
コート	Bコート	第3試合
カテゴリー	女子	シード決定戦
主審	藤城 真理	
第1副審	野田 宏樹	
第2副審	金岩 貴之	

TEAM A		TEAM B															
熊本国府 102	<table border="0"> <tr><td>34</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	34	1st	19	19	2nd	21	27	3rd	12	22	4th	16		OT		精華女子 68
34	1st	19															
19	2nd	21															
27	3rd	12															
22	4th	16															
	OT																
熊本1位		福岡2位															
○		●															

【BOXスコア】

TEAM A		熊本国府高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松本美月	◎ 17	2	5	1	1	
5	松村愛	0					
6	井上祐菜	○ 17	2	5	1	1	
7	川端日菜子	○ 28		10	8	1	
8	安庭希海	2		1			
9	後藤友花	0				1	
10	久保下真帆	○ 29		14	1	3	
11	大村未来	2		1			
12	小峰祐奈	0				1	
13	鷹木彩	3	1			1	
14	添田梨裳	0				1	
15	原田真尋	○ 4		2		3	
コーチ	吉村明						
合計		102	5	38	11	13	

TEAM B		精華女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	梶原志保	◎ 4		2		2	
5	織田萌々香	0					
6	清水利祐子	○ 11		4	3	3	
7	石丸雪乃	○ 9		4	1	4	
8	屋宜沙弥香	2			2		
9	長谷川奈央	0					
10	仲里紗々花	4		2		2	
11	矢野聖華	9	3			1	
12	樋口鈴乃	○ 10	1	3	1	1	
13	嵐夏妃	0					
14	三浦舞華	○ 19	3	5		4	
15	木村瑞希	0					
コーチ	大上晴司						
合計		68	7	20	7	17	

【戦評】

全九州大会シード決定戦、熊本県1位熊本国府対福岡県2位精華女子との対戦、両チームのスターティングメンバーは熊本国府、#4、#6、#7、#10、#15、精華女子、#4、#6、#7、#12、#14で試合開始。第1P、両チームともディフェンスはハーフコートのマンツーマン。熊本国府は開始から4本連続で#7がインサイドで得点し、3分で14対5としたところで、精華女子タイムアウト。しかし、流れを戻せず、逆に熊本国府は高さを生かした#10のインサイドや、#4の3ptsでリードを20点に広げる。精華女子はチームファウルも5個を越え、苦しい展開も、終盤、#11の3ptsや#4のブザービーターもあり、15点差で第1Pを終了。第2P、熊本国府がインサイドで得点を重ね点差が19点になった2分半、精華女子はタイムアウトを取り、ここから2-1-2のゾーンに切り替える。熊本国府、アウトサイドからの3ptsシュートを試みるも入らない。精華女子は#14の3ptsを含む活躍で追い上げを見せる。終了間際、精華女子は#12の連続得点もあったが、53対40で熊本国府がリードを保ったまま後半を迎える。第3P、精華女子は引き続きゾーン。序盤、熊本国府の3ptsはなかなか入らないが、4分、第2P以降初めての3ptシュートを熊本国府#4が沈めると、#6も3pts、さらに、インサイドの#10にもいいパスが供給され、縮まりかけていた点差が一気に22点にまで広がり、精華女子タイムアウト。しかし、熊本国府は流れを渡さず、80対52で第3P終了。第4P、精華女子はオールコートの2-2-1ゾーンプレスでプレッシャーをかけるが、熊本国府は落ち着いてボールを運び、インサイドの#10にパス。また、熊本国府は#6の3ptsや#7のジャンプシュートで得点を重ねる。精華女子も#11の3ptsなど追い上げるも、#10の高さを生かし、インサイドを制した熊本国府が102対68で勝利を収めた。

【戦評記載者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会